

第1414回 例会 (平成28年9月23日)

本日のプログラム 親睦夜間例会

前例会の記録 (第1413回 平成28年9月16日)

- ・会員数 41名
- ・出席者 37名 ・出席率 90・24%
- ・欠席者 4名 北殿 福嶋 狩屋 吉岡の諸君
- ・9月2日メーキャップ後の出席率 92・68%→95・12%に補正

9月12日福山丸の内RCへ、河田 恭志君

- ・ゲスト 小林 嘉文様 (笠岡市長) ・ 撰 友則様 (政策部秘書広報課係長)
- ・ビジター なし
- ・会長報告 本日は、国際ロータリー創立111年と207日に当たり、笠岡東ロータリークラブは創立29年と278日に当たります。

9月11日(日)、4クラブゴルフ大会が井原ゴルフクラブにおいて開催されました。

同日、クラブ米山記念奨学会委員長研修会が米子全日空ホテルに於いて開催され、大島俊明米山記念奨学会委員長にご参加して頂きました。

9月15日、30周年記念事業である、水栽培キット贈呈の件で笠岡市教育委員長のもとへ、奥野実行委員長、工藤記念事業委員長と私で「趣意書」を持参しご挨拶をさせて頂きました。

同日、30周年祝宴委員会が開催されました。

- ・幹事報告 庄司ガバナー事務所より、地区大会信任状の提出お願いが参っております。出雲中央RCより、第4回全国ロータリークラブ親睦卓球大会 in 出雲のご案内を頂いております。

日時：平成28年11月20日(日) 場所：カミアリーナ

倉敷水島RCより、「防災講演会」のご案内を頂いております。

日時：平成28年10月1日(土)14時～16時 場所：倉敷芸術科学大学

ハイライトよねやま198号をメールにて頂いております。

近隣クラブの例会変更のお知らせを、高梁RCより頂いております。

- ・委員会報告 会報委員会よりロータリーの友の紹介
- ・配布週報 卓話資料 ・食事 幕の内

◎スマイル

小川隆則・石田官義君 小林市長様にはご多用の中当クラブ例会にご出席を頂き卓話を頂戴します。

ありがとうございます。カーブも予定通りリーグ優勝しました。お祝いします。

池田 孝・光井 伸・新井善久・三宅達夫・大島俊明・椋梨孝章君 小林市長様ようこそ!

長鋪方隆君 小林市長今日は有難うございます。明日明後日神島天神祭りです。ご参加下さい。

頃末英克君 9月22日30周年記念スナッグゴルフ&BB大会に参加の会員方宜しくお祈りします。

奥野千秋君 小林市長良くいらっしゃいました。4クラブ大会でベスグロを頂きました。

中務祺九大君 22日悲眼院のスナッグゴルフ&BB大会は晴れさせますのでご参加下さい。

恵谷龍二君 私の履歴書に安部さんが書かれています。昨日、同送会がありまして広島カーブの話題で盛り上がりました。

山本雅夫君 週報に記載ミスがありました。9月30日は例会取止めです。

越智信子君 今日は、早退致します。

祝宴会より委員会費のお釣りからスマイルします。スマイル 29,000円

●プログラム 「世界経済と笠岡の農産業」 小林 嘉文様 (笠岡市長)

日本の経済情勢は、民主党政権下に円高ドル安で日経平均株価が8,000円台に下がり、景気も低迷した。安倍政権下でアベノミクスを実施し、日経平均株価も一時20,000円台まで上昇、失業率も下がるなど、4年目を迎え、景気が回復基調にある。安倍政権の目標は「強い日本を取り戻す」こと。それは、貿易収支の回復で、2015年度は、実際、5,400億円超の黒字となっている。アベノミクスによる円安政策の実施により、輸出産業には追い風となった。デフレからの脱却を目指すため日本銀行は金融緩和を強化し、長期金利は日本初のマイナス金利となり、日銀に預けても利子につかないという状況になった。

そのため、企業は内部留保をせずに投資の動きをみせるようになってきている。その結果、雇用は110万人増え、有効求人倍率は23年ぶりの高水準を示すまでになった。一方、世界では、2015年に人口70億が2050年には90億以上となり、人口増に穀物の需給が追いつかず糧問題が起きると予測される。しかし、日本では耕作放棄地が増えて農産業が衰退し1960年には80%を超えていた食糧自給率が40%を下回り、先進国の中でも最低水準となっている状況である。このような状況でも、食生活の変化により肉食が増え牛や豚を育てるため、飼料用穀物が必要となっている。穀物を育てるためには、大量の水が必要となり、人口増加と相まって世界的な水不足も懸念される。また、日本は、食料を中国からの輸入に頼っているがマスメディアで取り上げられたように食品の安全、安心の面で、大いに問題がある。このように今後は、農業が大きく注目される。幸い笠岡には、先人の努力により全国で2番目の大きさを誇る笠岡湾干拓地(面積:1,811ha)がある。これは笠岡市にとって大きな財産である。特に、笠岡は昔から土地と水に苦勞してきたが、この問題を一挙に解決した。マーケティング面でいえば、関西、中四国、九州北部まで、多くの市場に農作物を供給できるポテンシャルを秘めている。ただ、現在では、全体でも50~60億円という売上高にとどまっており、これをいかに増やしていくかが、笠岡市として大きなミッションとなる。そのために進めていきたいのは、まず酪農、畜産の規模の拡大である。現在、7,000頭の牛を10,000頭に増やして売上高を上げる計画である。ただし、現在も大きな問題となっている牛の糞尿処理を解決するのが前提条件となる。次に、大規模農業を展開していきたい。現在、株式会社サラによる次世代メガファームの誘致が決まっており、最新の情報通信技術を活用した巨大なガラスハウスでの効率的な農業が実施され、多くの市場への供給、売上高の向上が期待できる。農業だけではなく、JFEの工業用地の未利用地など、利用できるものはすべて活用し、雇用の場を創出して子どもたちに笠岡に帰って来てもらい、親子二世三代がともに暮らせるまちをつくり、家族の絆を取り戻したい。

次週以降のプログラム&行事予定

- 9/26(月) 姉妹クラブ合同委員会 19:00~ 憩い処ありがとう
- 9/28(水) 第6回30周年実行委員会 19:00~ 笠岡グランドホテル2F
- 9/30(金) 第5例会 取止め
- 10/4(火) 50代以下会員増強委員会 19:00~ 魚好人 一休
- 10/7(金) 第1例会 会員一口卓話・新会員卓話
- 10/14(金) 第2例会 ゲスト卓話 田淵 純雄様 (浅口商工会会長)
- 10/21(金) 第3例会 米山月間に因んで(研修会報告) 大島俊明米山記念奨学会委員長会 (例会場変更 笠岡グランドホテル1F 菊の間に)